

II 年間指導計画

校訓	『輝』 科学の光・自然の光・人間の光
----	-----------------------

学校教育目標	1 人権尊重の精神のもと、「生きる力」を育み、夢に向かってたくましく生きる児童の育成
	2
	3

育てたい児童像	かしこさ(知)、やさしさ(徳)、たくましさ(体)の「生きる力」を身につけた児童
---------	---

いじめ対応チーム：校長 教頭 生活指導担当 低・中・高学年代表 養護教諭
*状況に応じて関係職員等も含めて編成

《年間指導計画》

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組	未然防止、早期発見に向けて
4月	いじめ対応チーム会議 ・指導方針の確認 ・年間計画作成 職員会議 ※1	いじめ実態把握調査 → 道徳・特別活動計画に反映	個人面談・個人状況把握 ※3	<p>未然防止、早期発見に向けて</p> <ol style="list-style-type: none"> すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。 いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。 各個人の様子について普段から情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。 各担任や活動担当者が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。 <p>～危機管理の要諦より～ 迅速性 柔軟性 応変性</p> <p>※1 職員会議 いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。</p> <p>※2 生活実態(いじめ)アンケート 各学期1回ずつ、いじめの実態把握のアンケートを実施する。</p> <p>※3 個人面談/個人状況把握 年度当初、大きな行事等の区切りごとに個人面談を実施し、生活状況把握するとともに、クラス内の児童の状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。</p> <p>※4 いじめ実態把握調査 児童、保護者を対象としたいじめ問題への意識調査を実施し、その調査状況を元に特別支援の計画等を作成する。</p> <p>※5 保護者向け啓発/研修 ホームページや保護者会等を活用して、学校のいじめ防止基本方針を周知するとともに、保護者からいじめを含む様々な情報を収集する。</p> <p>※6 人権教育研修/情報モラル研修 人権の問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等についての研修会を実施する。</p> <p>※7 学級・学年づくり/人間関係づくり 1学期、2学期を通して、クラスや学年間の人間関係づくりについて学級活動等で学習するとともに、様々な体験活動を実施する。</p> <p>※8 家庭訪問 全学年で、担任や関係職員が、夏季休業中までに、一度は家庭訪問を行う。</p>
5月	保護者向け啓発(ネットいじめを含む) PTA総会、保護者会	カウンセリングマインド研修	個人面談・個人状況把握 ※8	
6月	緊急対応会議の適時開催	学級・学年づくり(人間関係づくり)	生活実態アンケート ※2	
7月			三者面談 個別面談 個人状況把握	
8月			個人面談・個人状況把握 ※11	
9月	いじめ対応チーム会議 ・情報共有 職員会議	カウンセリングマインド研修	個人面談・個人状況把握	
10月		学級・学年づくり(人間関係づくり)	個人面談・個人状況把握	
11月	保護者向け研修会		生活実態アンケート	
12月		人権教育研修 ※6 (マラソン大会)	三者面談・個人状況把握	
1月	いじめ対応チーム会議 ・情報共有 ・3学期計画作成 職員会議		個人面談・個人状況把握	
2月		情報モラル研修 ※9	生活実態アンケート	
3月	いじめ対応チーム会議 ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正 いじめ実態アンケート送付	次年度に向けクラスづくり (集会活動)		